

■ 穎娃野の馬牧

穎娃野は牧神岳を中心とした丘陵地にあり、昔から馬の産地として知られていました。江戸時代、そこは藩主の馬牧として設置され、明治時代には軍馬が育成されていました。

昭和40（1965）年に穎娃野は町営の牧場、熊ヶ谷牧場になりました。牧神岳には馬頭観音がまつられており、アグリランド展望台からは、かつての穎娃野一帯を見下ろすことができます。



■ 茶業に革新！乗用型摘採機の誕生

松元機工は昭和31（1956）年に創業した、農業機械の製造販売をしている会社です。創業と同時期に茶業機械の開発を進め時代のニーズに合わせて可搬型から自走型、乗用型に進化し、南九州市に普及していきました。その原型が昭和37（1962）年に誕生した乗用型の茶園トラクター1号機です。

現在の摘採機はキャタピラーで移動していますが、1号機はタイヤを使用していました。摘採機の誕生によって、南九州市のお茶の生産量や栽培面積は大きく増加し、日本の茶業にも革新をもたらしました。



■ 真田幸村落ち延び伝説

真田幸村（信繁）は大坂夏の陣で活躍し、戦死した戦国武将です。雪丸自治会山中にある宝篋印塔は幸村の墓であると伝わっています。元和元（1615）年の大坂夏の陣の後、幸村は豊臣秀頼らと密かに薩摩に落延びたという伝説があります。「雪丸（ゆきまる）」という地名も「幸村（ゆきむら）」をもじったものだといわれています。



粟ヶ窪地区 地域の「お宝」マップ



広大な田畑や茶畑、牧畜などの産業が盛んな粟ヶ窪地区。田の神さあや水道記念碑は昔から人々が豊作を願い、田畑を潤してきた証でもあるのです。



粟ヶ窪小学校章 牧淵別府のひまわり畑



佃の棚田 熊ヶ谷の茶畑

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ① 佃の田の神 | ⑨ 円福庵跡の阿彌陀如来像 |
| ② 佃の棚田 | ⑩ 雪丸のダム |
| ③ 東新田用水路の取水口
馬渡川の滝 | ⑪ 雪丸の宝篋印塔
(伝真田幸村の墓) |
| ④ 牧淵別府の田の神 | ⑫ 畑の郷水士利館 |
| ⑤ 飯山の水道記念碑 | ⑬ 牧神岳の馬頭観音 |
| ⑥ 桃木谷橋 | ⑭ 熊ヶ谷牧場 |
| ⑦ 一氏の山之神 | ⑮ 谷場橋 |
| ⑧ 雪丸の田の神 | ⑯ 高吉権右衛門顕彰碑 |
| | ⑰ 谷場の水道記念碑 |